

# 愛知県感染症情報

Infectious Diseases Weekly Report

平成 18 年 29 週(7 月 3 週 7/17~7/23)

(作成) 愛知県感染症情報センター

連絡先: 052-910-5619 E-mail: [eiseiken@pref.aichi.lg.jp](mailto:eiseiken@pref.aichi.lg.jp)

## 今週の内容

- ・ 注意する感染症
- ・ 定点医療機関コメント
- ・ 全数把握感染症発生状況
- ・ 五類定点把握感染症報告数  
(保健所別、年齢別)

## 注意する感染症

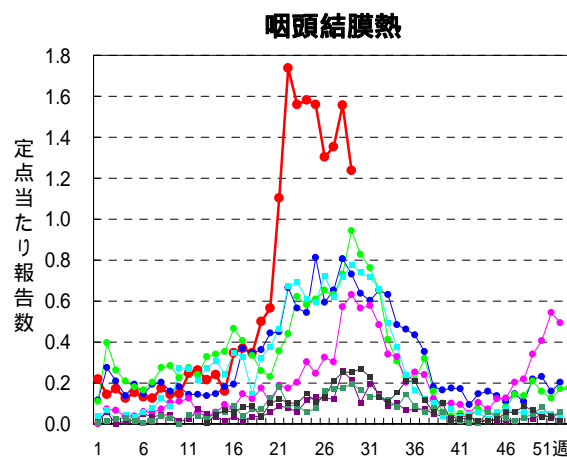
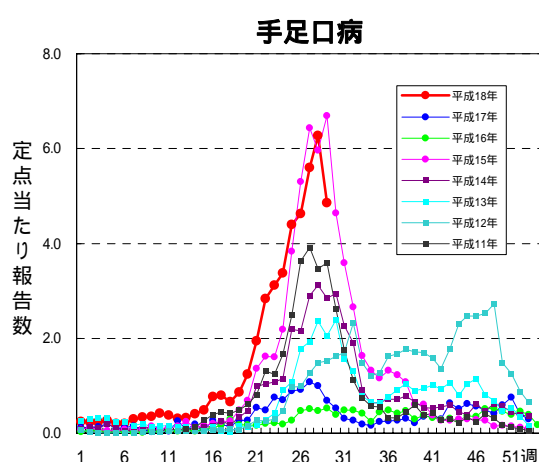
### 1) 手足口病 (<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/natsu.html>)

第 29 週の定点あたり患者報告数は 5.15 人、前週比 0.8 倍(1,141 人 938 人)と、先週より減少しましたが、依然として流行が続いています。昨年 10 月以降、当所に搬入された手足口病患者の検体 123 件のうち 51 件からウイルスが分離され、うち 42 件(82%)はエンテロウイルス 71 型でした。このウイルスは、特に中枢神経合併症に注意する必要があります。

衛生研究所技術情報抜粋 <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/Vol.26-2.pdf>

### 2) 咽頭結膜熱 (<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/intou.html>)

第 29 週の定点あたり患者報告数は 1.24 人、前週比 0.8 倍(283 人 225 人)ですが、依然としてここ数年間で最も高い状態が続いています。



### 3) 伝染性紅斑 (<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/ringo.html>)

第 29 週の定点あたり患者報告数は 0.66 人、前週比 0.6 倍(215 人 121 人)と先週より大きく減少しましたが、大きな流行が見られた平成 13 年の同時期と同程度となっています。

### 4) ヘルパンギーナ (<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/herpangina.html>)

第 29 週の定点あたり患者報告数は 2.98 人、前週比 0.7 倍(740 人 543 人)とピークを過ぎましたが、引き続き流行中とのコメント(定点医療機関)が多数みられます。

愛知県感染症情報センター (<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>)

その他の疾病のグラフについては「グラフ総覧」

(<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf>)をご覧ください。

## 定点医療機関コメント（名古屋市除く）

### 尾張西部地区

先週の便培施行した児で、12歳男2名、  
7歳男カンピロバクター（+）

手足口病相変わらず多いです。

【一宮市 あさのこどもクリニック】  
手足口病流行中

【一宮市 後藤小児科医院】

病原性大腸菌O1 24歳女

病原性大腸菌O6 9か月女

病原性大腸菌O74 2歳男

マイコプラズマ感染症 6名

【一宮市 城後小児科】

手足口病が目立ちます。

【犬山市 武内医院】

ヘルパンギーナの流行続いています。

手足口病は少し減少してきました。

【江南市 みやぐちこどもクリニック】

手足口病、ヘルパンギーナ多発。

PCFも多く見られます。ほとんどAD3型です。

伝染性紅斑が少なくなってきました。

【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】

5歳男、16歳男 マイコプラズマ肺炎

アデノウイルス感染症が多い様です。

【春日町 丹羽医院】

### 尾張東部地区

ヘルパンギーナ、手足口病、アデノウイルス感染症などは少なくなりました。

【瀬戸市 津田こどもクリニック】

今週も手足口病、流行続いています。

ヘルパンギーナも増えてきました。

咽頭結膜熱は1例のみ。

成人の伝染性紅斑1例（36歳女）

溶連菌感染症、マイコプラズマ感染症も多くみられます。

【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】

手足口病、ヘルパンギーナが続いています。

【春日井市 春日井市民病院】

ムンプス増加

溶連菌感染症、手足口病、ヘルパンギーナ続発中

12歳 カンピロバクター腸炎

【春日井市 朝宮こどもクリニック】

28歳女 アデノ（+）、結膜炎（-）

【春日井市 竹内医院】

手足口病多い。

【小牧市 小牧市民病院】

手足口病やヘルパンギーナが多く見られます。

【小牧市 志水こどもクリニック】

MRワクチン接種後、麻しんのコプリック斑、全身発疹症状、1歳女2名。

【小牧市 医療法人心正会鈴木小児科】

マイコプラズマ肺炎多発

【美浜町 厚生連知多厚生病院】

手足口病、ヘルパンギーナ流行中。

【東海市 小児科ハヤカワ医院】

咽頭結膜熱が再び増加傾向。

【大府市 まえはらこどもクリニック】

---

## 西三河地区

---

2 歳男、3 歳男、7 歳男 キャピリアア  
デノ (+)

1 歳男 カンピロバクター +  
E.coli(O74)

13 歳男 カンピロバクター

【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】

アデノ陽性者 5 名

病原大腸菌 O1 (+) 6 歳男

咽頭結膜熱は大分減りました。

【岡崎市 花田こどもクリニック】

19 歳男 カンピロバクター腸炎

アデノウイルス感染症、溶連菌感染症、  
減ってきています。

【岡崎市 竜美ヶ丘小児科】

アデノ (+) 4 歳女、3 歳女

1 歳女 病原性大腸菌 O15 (+) VT (-)

【岡崎市 にいのみ小児科】

---

9 歳女 マイコプラズマ肺炎

9 歳女 カンピロバクター

2 歳女 病原大腸菌 O25

【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】

手足口病 引き続きいます。

【碧南市 永井小児クリニック】

咽頭結膜熱 7 名

ギアノッチ症候群 2 名

マイコプラズマ肺炎 1 名

【知立市 宮谷クリニック】

手足口病がまだ流行しています。

【三好町 三好町民病院】

感染性胃腸炎は 6 名とも嘔吐のみでした。

【西尾市 やすい小児科】

---

## 東三河地区

---

4 歳男、9 歳女 カンピロバクター腸炎  
ヘルパンギーナ流行中

【豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科】

水痘、ムンプスも多くみられます。

【豊橋市 あずまだこどもクリニック】

病原性大腸菌 (O-1) 男

【豊川市 ささき小児科】

MCLS (川崎病) 先週 1 名 今週 1 名

【蒲郡市 蒲郡市民病院】

---

# 一 ～ 三類感染症の発生状況

- 愛知県(名古屋市を除く。) -

<関連リンク> 届出基準 (<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedekijun060612.pdf>)

## 細菌性赤痢 (二類感染症)

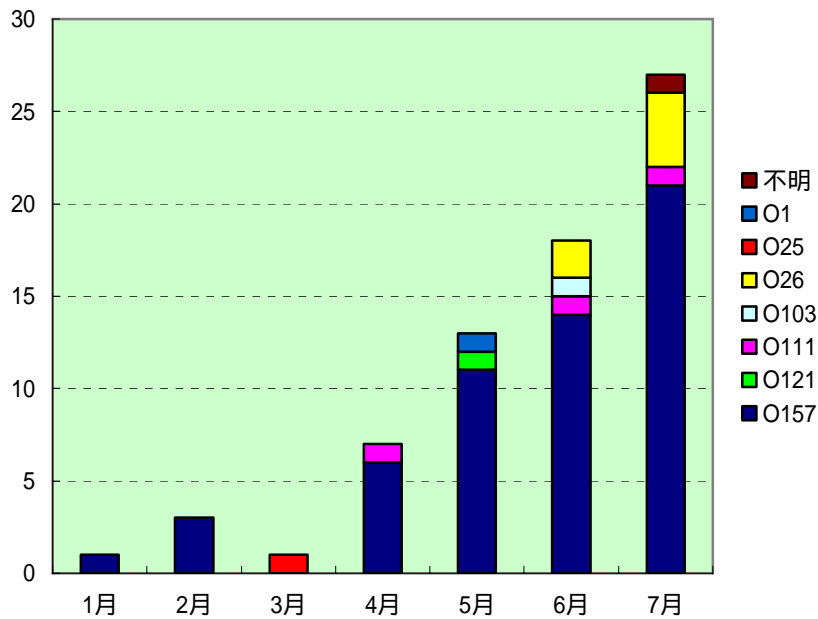
番号	報告保健所	年齢	性別	発病月日	初診月日	診定月日	備考
1	衣浦東部	35	女	- / -	7 / 22	7 / 24	推定感染地域：中国 < 30 週報告分 >

## 腸管出血性大腸菌感染症 (三類感染症)

番号	報告保健所	年齢	性別	発病月日	初診月日	診定月日	備考
1	師 勝	36	女	7 / 9	7 / 10	7 / 12	O157、VT1・VT2(+) < 28 週報告分 >
2	知 多	0	女	- / -	7 / 14	7 / 17	O157、VT1・VT2(+) 無症状病原体保有者 < 28 週報告分・再掲 >
3	半 田	12	男	- / -	7 / 14	7 / 17	O157、VT2(+) 無症状病原体保有者 < 28 週報告分・再掲 >
4	知 多	14	男	7 / 15	7 / 15	7 / 18	O157、VT1・VT2(+) < 28 週報告分・再掲 >
5	衣浦東部	40	男	- / -	7 / 16	7 / 18	O157、VT1(+) 無症状病原体保有者 < 28 週報告分・再掲 >
6	豊橋市	25	男	7 / 10	7 / 12	7 / 22	O157、VT2(+)
7	瀬 戸	2	男	7 / 8	7 / 19	7 / 20	血清型不明、 T 型不明、HUS
8	瀬 戸	0	女	7 / 16	7 / 20	7 / 22	O157、VT2(+)
9	瀬 戸	57	男	7 / 18	7 / 18	7 / 22	O157、VT1・VT2(+)
10	豊田市	1	男	7 / 14	7 / 14	7 / 21	O111、VT1・VT2(+)
11	瀬 戸	31	男	7 / 15	7 / 22	7 / 25	O157、VT2(+) < 30 週報告分 >
12	瀬 戸	32	女	7 / 3	7 / 22	7 / 25	O157、VT2(+) < 30 週報告分 >
13	春日井	1	男	7 / 17	7 / 19	7 / 23	O157、VT2(+) < 30 週報告分 >
14	瀬 戸	30	女	7 / 22	7 / 22	7 / 25	O157、VT1・VT2(+) < 30 週報告分 >

腸管出血性大腸菌感染症患者報告数の推移（名古屋市除く）

平成 18 年月別患者報告数（診断日に基づく集計。平成 18 年 7 月 27 日現在。）



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	計
O1					1			1
O25			1					1
O26						2	4	6
O103						1		1
O111				1		1	1	3
O121					1			1
O157	1	3		6	11	14	21	56
不明							1	1
計	1	3	1	7	13	18	27	70

関連リンク：「病原大腸菌」のページ

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/eaggec.html>

**四類・五類（全数把握）感染症の発生状況**

- 愛知県(名古屋市を除く。) -

レジオネラ症 2例（34歳、52歳）

劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1例

後天性免疫不全症候群 1例（無症候期、推定感染地域：国内、推定感染経路：性的接触）



